

## オプトアウト書式

①研究課題名	救急医が行う Advance Care Planning (ACP) に関する研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2024年3月31日までの間に、日本全国の救命センターもしくは集中治療部 (ICU) に緊急入院された65歳以上の患者さんが対象となります。
③概要	Advance Care Planning (ACP) とは、将来の変化に備え、将来の医療・ケアについて、本人を主体に、その家族等及び医療・ケアチームが繰り返し話し合いを行い、本人の意思決定を支援するプロセスのことです。普段からこのようなことを考えている方はそれほど多くないかもしれませんが、救急車などで緊急入院した際は自身の将来について考える一つの良い機会といえます。しかし、救急医療に携わる者がどれほど ACP に関わっているか、どれだけの成果が得られているかを調べた研究はほとんどありません。そこで今回我々は、皆様の入院中の情報を基に救急医が行う ACP についての研究を行うこととしました。
④申請番号	新潟大学倫理委員会 20220104
⑤研究の目的・意義	本研究によって、皆様の救急搬送時の病状説明や将来についての話し合いがよりしっかりと行えるようになって考えています。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2024年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	診療録 (電子カルテ等) をもとに調査します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行います。得られたデータは電子メールなどで渡され、新潟大学の研究用の PC に保管されます。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	カルテなどの診療情報から、年齢、性別、入院した時の病名、どのような経過になったか、ACP は行われたかなどを調査します。また、退院前に治療についての満足度などについての簡単なアンケートに答えていただきます。
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用します。 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 救命救急災害医学講座 神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター・救急部 関西医科大学附属病院 救急医学講座
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	関西医科大学附属病院 救急医学講座 中村文子 助教 (56441)
⑪お問い合わせ先	関西医科大学附属病院 救急医学講座 中村文子 助教 (56441)